

熊本市西部地域森林整備協議会を開催

2月24日、熊本県森林組合連合会会議室において、熊本市西部（金峰山）地域森林整備推進協定の運営会議である本年度の協議会を熊本森林管理署、熊本県森林組合連合会、熊本市（農業政策課、西南部農業振興センター農業振興課）、熊本県上益城地域振興局林務課の関係者12名（オンライン参加者含む）で開催され、当署から川畑充部署長、甲斐誠一森林技術指導官、内村圭一総括地域林政調整官、永野達也熊本森林官が参加しました。

協議会では、協定者を代表して川畑署長から「昨年度から新しいフェーズに入ったが、更なる協議会の活性化のために今後の協議会の進め方等について活発な議論をお願いする」との挨拶の後、各協定者から令和2年度と令和3年度の実績の報告、熊本県森連からUAVを用いて施業地全体の間伐率を算出するためのリモートセンシング技術活用実証事業の結果について報告がありました。

また、今後の協議会の進め方について当署甲斐森林技術指導官から提案を行い参加者で意見交換を行った結果、今後はソフト事業等にも取り組んでいくことなどが了承され、引き続き関係機関が連携・協力していくことを確認して会議を終了しました。



（協議会の状況）